町民と考える

第2回 町議会 オープンミーティング

富士見町議会は、コミュニティ・プラザで「第2回町議会オープンミーティング」を開きました。町政の課題全般について、町民の皆さんから意見、要望を聞こうという取り組みです。昨年5月に続いて開きました。今回は「農業」「子育て・教育・福祉」「商工業」の三つの分科会を行い、約30人の方が参加されました。町政課題に対するさまざまな提言もありました。

【農業】

農業の課題について話し合った分科会

かんがい施設の新設を

農業の分科会では、農業委員、個人農業者と、野菜、花き栽培の農業法人４社の計９人が参加しました。テーマは「町内農業の課題」です。

労働力の確保については、ハローワークの利用のほか、「外国人研修生を積極的に活用することも必要では」という踏み込んだ意見がありました。

農業用水の確保に関しては、「かんがい施設の新設を検討してほしい」と切実な訴えがありました。また、「各区との調整をする窓口を設けてほしい」との声もあり、町外から移り住んだ新規就農者が行政区との調整役を求めていることが浮き彫りになりました。

補助事業に関して「自ら探して、行政に逆提案する努力も必要では」という意欲的な意見や、町に対して「農業所得に占める法人の比率を調査し、広報で公開してほしい」との指摘もありました。

オープンミーティング

議員は課題を提起するが、聞き手役に徹すること、発言者はお互いの意見を否定せずに自分の考えを述べ、建設的な意見を出し合う―という基本ルールで行いました。約90分間という限られた時間の中で活発な意見、要望をいただきました。発言された皆さんの声は、今後の議会活動に生かしていきます。